



# あやめだより

令和4年6月号

校長 戸田 太郎

今年は、さつきや藤などの花々が、例年より早く咲いていたように感じます。自然界の動植物たちは、気温や湿度などを敏感に感じ取り、自身を成長させています。しかし、この頃は、春でも真夏のような気温になる日もあ



り、動植物たちの感覚も感わされているのかも知れません。私たち人間も、まだ本格的な暑さに慣れていない時期こそ、熱中症を心配し、水分補給や日陰での休憩に心がけています。

その様な中、子どもたちは、今日も元気いっぱい汗をかきながら運動場で遊んでいます。世の中には、感染症や戦争、事故や事件など暗いニュースも多くあります。しかし、目の前の子どもたちのあふれる笑顔を見ていると、この笑顔は、何としても守らなければならないという思いを強くします。

学校では、交通安全教室や避難訓練などを通して、自分の身を自分で守ることを強く意識させています。同時に、周りの大人たちが、力を合わせて子どもたちを守っていくことも大切です。



毎日、子どもたちが通る歩道で、車の運転手に子どもたちが横断することを知らせ、安全に横断できるよう守ってくれている保護者や地域の方々を数多くお見かけします。本当に感謝の気持ち一杯です。今後も保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、子どもたちの笑顔を守るために学校も一層の努力をしていかなければならないと考えています。

これからも、ご協力をよろしくお願いいたします。